

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
経済 (25)	マクロ	1	給付政策について	ご意見として承りました。
	金融	1	お金に時限性を持たせたら	ご意見として承りました。通貨そのものに時限性を与えるのは難しいかもしれませんが、期限付き商品券の配布等は類似の考え方かと存じます。
	税制	2	消費税率引上げを、消費税の二重課税問題解消を	ご意見として承りました。 ・消費税については、政策目安箱はじめ皆様からのご意見が後押しとなり、新型コロナウイルス感染症等による経済活動への影響に対する当面の対策として消費税減税特例プログラム法案を前国会（第203回臨時国会）11/27付で参議院に提出しました。これは2年間を目途として消費税を一律5%とし、特例期間終了後も経過的に8%とするものです。本国会（第204回通常国会）でも1/29に参議院へ提出いたしました。また1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が質問しております。 https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html https://o-ishin.jp/news/2021/images/c6d9f781649d33233e432759b527438da7daea8f.pdf
	マスコミ	11	テレビ業界の感染症対策に付いて、マスコミ優遇、コロナ報道、報道と補償、テレビ離れ、マスコミの選民思想、毎日新聞の世論調査・捜査、日中記者交換協定とコロナ	ご意見として承りました。
	放送・通信	2	NHK改革は国民投票しかない、NHKの民営化・スクランブル化	ご意見として承りました。 ・さる参議院選マニフェストではNHKについて公共性の高い分野を無料化し、有料分野はスクランブル化及び有料配信アプリを導入することを訴えております。加えて2020年3/19衆議院総務委員会NHK予算に関する質疑で足立康史議員が「放送と通信が融合する時代の公共メディアとしてのNHKの姿が見えない」こと、公共性の高い分野以外を民営化すべきではと質問しております。
	エネルギー	2	他国に左右されるエネルギー問題、柏崎原発ID流出	ご意見として承りました。
	環境	2	カーボンニュートラル利権、カーボンプライスに関する批判	ご意見として承りました。 ・さる参議院選マニフェストでは「脱炭素社会の推進」を訴えており、1/22参議院本会議の片山虎之助共同代表の質問で「カーボン・ニュートラルは世界の潮流であり、方向性としては賛成。」としております。その上で国会議員団の経産部会・環境部会合同で勉強会を行い議論を深めていきます。また2/10衆議院予算委員会で串田誠一衆議院議員がカーボンニュートラルと畜産業と地球温暖化の関係について環境大臣宛に質疑を行っています。
	温暖化			
	観光			
	農業			
	交通	2	電気自動車の問題点、脱ガソリン・EV推進に疑義あり	ご意見として承りました。 ・さる参議院選マニフェストでは「脱炭素社会の推進」を訴えており、1/22参議院本会議の片山虎之助共同代表の質問で「カーボン・ニュートラルは世界の潮流であり、方向性としては賛成。」としております。その上で国会議員団の経産部会・環境部会合同で勉強会を行い議論を深めていきます。
	住宅	1	日本の保育園の現状並びに住宅ローン控除特例（13年）延長について	ご意見として承りました。
	RCEP			
その他	1	半導体支援について	ご意見として承りました。・さる参議院選マニフェストで「日本の競争力を高める徹底した競争政策を実施」を掲げております。	
社会保障				
医療	4	受動喫煙の濃度反応調査を、医療用マスクの国産化・規格化を、医療体制が崩壊の危機が露見した事について、鍼灸などの施術所に対する慰労金と消毒液の補助金のお願い	ご意見として承りました。 ・受動喫煙問題については第201回国会4/3参議院本会議で松沢成文参議院議員が当時の安倍総理に質疑を行なっております。 ・医療体制について令和2年5月13日付『新型コロナウイルス対策に関する提言第5弾』で「平時の医療提供体制から感染症シフト体制への移行」を政府に申し入れ、1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が、参議院では1/22の本会議代表質問で片山虎之助共同代表が質問しております。特に特措法31条の改正で「医療関係者」に加え「医療機関」も対象に入れて要請・指示・命令規定の新設を行うことを提言・交渉し、勝ち取った内容で特措法の改正が成立しております。	

政策目安箱ご意見（2021年1月後半分）

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
社会 (19)	労働	4	雇用問題と派遣制度撤廃を、障害者施設に仕事を、無期転換ルールの改正（5年雇止め問題）を、労働者賃金が伸びないことについて真剣に解決策を	ご意見として承りました。 1/26衆議院予算委員会で馬場幹事長が「新・所得倍増計画」を訴える旨、発言しております。 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353883937148334080?s=20 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353884049715027968?s=20
	外国人	1	朝鮮幼稚園に通う幼児に2万円給付に反対	ご意見として承りました。
	児童虐待			
	少子化			
	不妊治療			
	動物愛護			
	保育	1	いつでも保育園に入園できる環境を	ご意見として承りました。
	教育・研究	2	ポーガンの規制に隠されたアーチェリーで高校生が起こした殺人事件の報道隠ぺい、ハンドボール日本男子チームの強化と世界選手権のテレビ中継、	ご意見として承りました。 ・日本ハンドボール協会定款第4条に「ハンドボールに関する宣伝・啓発活動」があり、ファンとして同協会に仰るべきことと存じます。また視聴者として地上波テレビ局に要望を出す方法もあるかと考えます。ハンドボール日本代表「彗星JAPAN」・「おりひめJAPAN」のますますのご活躍を祈念しております。 https://www.handball.or.jp/jha/doc/charter.pdf
	法務	1	日本に安楽死制度を導入を	ご意見として承りました。
人権	1	DV・虐待をなくして	・さる参議院選マニフェストで「児童虐待の撲滅」「性暴力被害・DVの撲滅」を謳っております。また串田誠一衆議院議員が中心となって法務委員会で訴えております。	
その他	5	特殊詐欺、女性の立場に立った政策を。東京五輪楽しみ、新型コロナの対応できない為東京五輪延期を、東京五輪開催の時期変更を	ご意見として承りました。 ・さる参議院選マニフェストで「女性がくらしやすい社会へ」を掲げました。引き続き議論を行なって参ります。 ・新型コロナ対応と東京オリ・パラ開催の可否については昨年（令和2年）11/20の参議院本会議で梅村聡参議院議員が菅総理に対して質問をしております。	
外交 (37)	防衛	7	核兵器禁止条約について、サイバー防衛隊の増員・法整備を要望、外資土地買収、アジア版NATO、大和堆で日本漁船の活動を、国家機密が漏れている、戦時刑事特別法の復活・改正	ご意見として承りました。 ・核兵器禁止条約に関し、さる参議院選マニフェストで「ポストNPT 核軍縮に向け新たなテーブルを構築」を掲げております。 ・さる参議院選マニフェストで「サイバー・宇宙空間防衛体制の強化」を掲げております。 ・国家安全保障上重要な土地や水源地の取引について、1/29参議院に「安全保障上重要な土地取引の規制法案」「水源の保全等に係る森林の土地取引の規制法案」を提出しております。 https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html また杉本和巳衆議院議員が11/13衆議院安全保障委員会で質問をしております。
	米国	1	バイアメリカン政策	ご意見として承りました。
	韓国	11	反日挑発、金融制裁、韓国に対する対応、竹島問題、在韓米軍慰安婦問題、ライダイハン	ご意見として承りました。 ・従軍慰安婦問題と政府答弁に関しては2/8衆議院予算委で藤田文武衆議院議員が菅総理と加藤官房長官に質問をしております。
	北朝鮮			
	中国	11	海警法改正、尖閣問題、経済制裁、現実的な対応、中国共産党員が公館・企業に勤務している、岸防衛相とオースティン国務長官会談の実現の可能性	ご意見として承りました。 ・海警法の改正に関して国会議員団の外交・安全保障部会を開催し情報収集を行っております。 ・尖閣諸島周辺の侵犯について我が党では、前国会（第203回）で浦野靖人衆議院議員が11/4衆議院予算委員会で菅総理に、また11/13衆議院外務委員会で質疑を行っております。本国会（第204回）では1/22参議院本会議の代表質問で片山虎之助共同代表が、2/5衆議院予算委員会で足立康史衆議院議員が菅総理、茂木外相に質疑を行っております。 ・人権侵害と制裁に関するマグニツキー法制定に関し党内議論・手続きを進めております。 ・さる参議院選マニフェストで「現実的な外交と安全保障政策を展開する」ことを謳っております。
	ロシア	1	共産主義国家は怖い	ご意見として承りました。
台湾	3	台湾新幹線輸出金額と対応、台湾の独立と中国	ご意見として承りました。	

政策目安箱ご意見（2021年1月後半分）

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
	その他	3	WHOの意義は海鮮市場等に調査に行くこと、英政府の香港人に対する特別ビザ発給、ジャパンハウスの費用対効果	ご意見として承りました。 ・WHOの調査団は2/9中国・武漢の卸売市場の調査とウイルス研究所の視察を終え、記者会見を行っております。
機構 (30)	皇室	1	皇女制度	ご意見として承りました。
	憲法改正	1	基本的人権として『真実を知る権利』と『真実を知らせる権利』を、これを保護するため『情報監督委員会』の設置を	ご意見として承りました。
	公務員改革	4	能力業績主義人事を無視するという参議院事務局の不文規制の即刻廃止・幹部職員人事・能力業績が評価されている職員の抜擢を、	ご意見として承りました。
	選挙	3	街宣車、街頭演説	ご意見として承りました。
	地方行政	11	広域行政一元化条例に反対、民間病院への指示不要と国で専門病院を、神戸市でのコロナ対応の現状、私立高校の費用請求、コロナ対応のために地方議員・地方公務員の削減を、議員は何をしているのか、府内公立中学校制服無償化を	ご意見として承りました。 ・病院再編・統合については平成27年9月3日市長会見（当時吉村市長）で役割分担と機能強化を行なっている旨説明しております。 https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000349803.html その上で、令和2年5月13日「新型コロナウイルス対策提言第5弾」では首都圏と関西圏に国立の新型コロナICUセンターを設けるべきと提言しておりますが、国が動かないことから大阪府単独でできる令和2年12月15日に大阪コロナ重症センターの運用を開始いたしました。 http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=40015 ・国に提案や法律を変えることはできないのかとのご質問を頂きました。国会議員団は新型コロナウイルス対策で今まで7回提言を行っております。提言の中には我が党所属の首長・地方議員と情報共有を行なった内容が含まれております。先般改正になった特措法の31条改正で「医療関係者」に加え「医療機関」も対象に入れることはまさに吉村府知事と情報共有を行い、改正の提言と交渉を行なった結果です。法律改正に関しても1/29に19法案を提出しております。 https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html ただ法案提出権は衆議院で20名以上、参議院で10名以上の賛成が、予算を伴う法律については衆議院で50名以上、参議院で20名以上の賛成が必要であり、まだまだ国会における仲間の数が足りません。（人数が少ないと法案が出せない）引き続きのご支援をお願いいたします。
機構その他	10	国会議員への定年制&議員も動向を公に、呼び出し太郎不要とオンライン参加など時代にマッチした国会に、戦前とシステムが変わらない、国民に3密回避を求めながら国会はそのまま、議員の起訴・拘留中は歳費支給停止・無支給となるように法律改正を、政務調査費返納と議員定数半減を、総理指名を衆無記名に、総理指名を全有権者の国民投票か全国国会議員の無記名投票に、費用対効果、政党政治の廃止と議員の道義的・モラルは常設・第三者委員会での懲罰委員会	ご意見として承りました。 ・議員も動向を公にするのが国民への義務とのご意見を頂きました。地方によっては地方紙が議員の動向を掲載したりしております。 2、「ぎーちょー」と叫ぶ「呼び出し太郎」に関する議論は行っておりませんが、我が党はさる参議院選マニフェストで国会改革を謳っております。コロナ禍における対応としては他党に先駆けて、党内役員会や部会を完全オンライン参加の導入を行いました。これにより議員に対する官庁担当者の説明がテレワーク化しております。国政のデジタル化についてはかねてよりペーパーレス化を党内で行い、公文書管理についてもペーパーレス化・電子化で永久保存をとる公文書管理法を参議院で提出してきました。本国会でも1/29に提出しております。 https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html 議員同士の接触機会を減らすため衆院本会議や委員会の採決時以外は議員の離席を認める出席議員削減については昨年第201回国会の4/10衆議院議院運営委員会理事会で我が党が「接触を避ける外出自粛などの要請が国民に出ている中、議員が範を示さないといけない」と出席議員を減らすことを提案し、認められました。本国会でも議院運営委員会理事会で遠藤敬国対委員長が提案しております。これにより衆議院本会議や各委員会では中継で質疑を見た上で採決時に加わる形になっております。参議院の本会議については参議院本会議場の席数460に対し定数245の為、議員間でソーシャルディスタンスが保たれる形です。予算委員会はテレビで見ますと密に見えますが、実際に見ますと距離感がとられています。引き続き古い慣例にとられる事無く時代にマッチした国会改革を求めて参ります。	

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
				<p>・国会議員が起訴、拘留され議員活動が不能になっても歳費を受給できる現状は理解納得できず、歳費支給停止、無支給となるように法律改正をとのご意見を頂戴しました。近代法の基本原則に「推定無罪：何人（なんびと）も有罪と宣告されるまでは無罪と推定される」があります。また議員活動が不能という視点では病気療養中というケースも考えられます。同時に今回投稿なさった背景にある件を鑑みますと「このままでいいのか」という疑問もあります。党内で議論を深めて参ります。</p> <p>・憲法67条に総理は国会の議決で指名するとあり、全有権者による国民投票制度を設けるとすれば憲法改正が必要になると考えます。現状、我が党は「教育無償化」「統治機構改革」「憲法裁判所設置」の3項目に絞った憲法改正原案を国民の皆様様に提案しております。</p> <p>・総理を全国国会議員による無記名投票で決めて、また衆議院で無記名で、とのご意見をいただきました。衆議院規則第18条1項で「内閣総理大臣の指名については、記名投票で指名される者を定める」、参議院規則第20条に「内閣総理大臣の指名は、単記記名投票でこれを行う」とありますので、両規則の改正が必要になります。</p> <p>http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/shiryo/dl-rules.htm#2 https://www.sangiin.go.jp/japanese/aramashi/houki/kisoku.html#ki02</p>
<p>党関連 (44)</p>	<p>党全般</p>	<p>41</p>	<p>補正予算賛成は正しい、桜を見る会追求を、国防国会、足立議員の質疑に対する賛否、橋下期待論、指定感染症分類について、維新に対する期待・支持、麻生発言の追求を、コロナウイルスワクチン接種早期実施対応、麻生発言の追求を、コロナ対策のための国会議員の歳費返上、国会議員の対応・ヤジ、馬場幹事長の質疑に対する賛否、馬場幹事長の日曜討論での発言賛否、党のスタンス・長期的ビジョン、政党イメージ・将来不安の払拭、尖閣諸島に関する質疑、定額給付金、危機管理強化と感染者数の自画自賛、居眠り、BIよりもまず定額給付金、経済政策の理論構築、医療従事者への再給付（野党議員立法）、コロナ対策</p>	<p>ご意見として承りました。</p> <p>・国防国会はないのかという質問がございました。安全保障部会を設けております。</p> <p>・新型コロナの感染症法上の見直しについては、我が党がかねてより訴えております。前国会（第203回）の11/4衆議院予算委員会で浦野靖人衆議院議員が田村厚労大臣に、11/10の衆議院本会議で青山雅幸衆議院議員が菅総理に、12/2の参議院厚労委員会で梅村聡参議院議員が田村厚労大臣に対し質疑をしております。</p> <p>・コロナワクチン接種の早期実現については本国会（第204回）1/21衆議院本会議の代表質問で馬場幹事長、1/22参議院本会議の代表質問で片山虎之助共同代表、1/26衆議院予算委員会で馬場幹事長、2/5衆議院予算委員会で足立康史衆議院議員が質疑を行っております。</p> <p>・コロナ対策のため国会議員の歳費を一部返上し困窮している人々や医療のコロナ対策にとのご意見を頂きました。現行制度で歳費返納は公職選挙法に抵触する為、かねてより「議員歳費・手当の返納を可能とする法案」を提出してきました。本国会（第204回）でも1/29に参議院へ提出しております。 https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html また昨年9/10には維新国会議員団で議員歳費から一旦党に寄付した形をとった議員歳費削減分をまとめ済生会本部に新型コロナウイルス感染症対策費として1500万円を寄付いたしました。 https://o-ishin.jp/news/2020/09/11/10064.html</p> <p>・「国民へ密にならないようにと言いながら国会での密は構わないのか」「ヤジは飛沫が飛ぶではないか」とのご意見を頂戴しました。「密」に関してですが、我が党は「接触を避ける外出自粛などの要請が国民に出ている中、議員が範を示さないといけない」と衆議院議院運営委員会理事会で提案し、衆院本会議や委員会の採決時以外は議員の離席を認める出席議員削減が認められました。詳細は本回答内「機構その他」のご回答に記載しております。「ヤジ」については2/8衆議院予算委員会で藤田文武衆議院議員が「飛沫が飛ぶ為、ヤジはやめましょう」と発言し、また予算委員会理事会でも提案をしております。</p> <p>・日曜討論から二度目の特別定額給付金に関しては2/12衆議院予算委員会で藤田文武衆議院議員が第1回目の給付の政策目的と、今後どのように支援しどのようにみなさんに支援金をお配りしたりする政策設計を為すか質疑を行っております。</p> <p>・求められるビジョンについては、1/26の衆議院予算委員会で馬場幹事長が「新・所得倍増計画」を訴え、国民のみなさまが夢や希望をもてる議論をしていきたい旨、発言しております。 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353883937148334080?s=20 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353884049715027968?s=20 これを踏まえて、2/5の衆議院予算委員会で足立康史衆議院議員が「我々の政権構想」としてセーフティネット論、そして経済成長をどのように考えていくか中期プランを考えようかと質疑を行っております。</p> <p>「新・所得倍増計画」の中にはもちろん社会保障改革も含まれております。</p>

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
				<p>・危機管理に疎い御党とのこと、ご意見として承りました。なお新型コロナ対策については、7弾に渡って政府に提言を行っております。https://o-ishin.jp/news/covid19-measures/</p> <p>また日本は欧米に比較して感染者が少ないなどと自画自賛とのご意見、これはどこを基準にするかもございます。米ジョン・ホプキンス大集計によると日本時間の2/11午後10時時点で、米国の感染者数2728万人 死亡者数47万人。インドの感染者数1087万人 死亡者数15万人。ブラジルの感染者数965万人 死亡者数23万人。英国の感染者数399万人 死亡者数11万人。これに対し日本の感染者数41万人 死亡者数6678人となっております。</p> <p>・医療従事者への支援については昨年12月2日付新型コロナウイルス対策に関する提言第6弾で、政府宛提言しております。https://o-ishin.jp/news/2020/images/teigen6.pdf</p> <p>他の野党の議員立法に関しては、他の野党から声がかかれば名の連ねようがありません。</p> <p>・消費税減税については新型コロナウイルス感染症等による経済活動への影響に対する当面の対策として消費税減税特例プログラム法案を前国会（第203回臨時国会）11/27付で参議院に提出しました。これは2年間を目途として消費税を一律5%とし、特例期間終了後も経過的に8%とするものです。本国会（第204回通常国会）でも1/29に参議院へ提出予定いたしました。また1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が質問しております。</p> <p>https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html</p> <p>https://o-ishin.jp/news/2021/images/c6d9f781649d33233e432759b527438da7daea8f.pdf</p>
	候補者擁立関連	1	北海道2区の候補者擁立を	ご意見として承りました。
	身を切る改革	2	身を切る改革&議員削減	<p>現行制度で歳費返納は公職選挙法に抵触する為、かねてより「議員歳費・手当の返納を可能とする法案」を提出してきました。本国会（第204回）でも1/29に参議院へ提出しております。</p> <p>https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html</p> <p>また昨年9/10には維新国会議員団で議員歳費から一旦党に寄付した形をとった議員歳費削減分をまとめ済生会本部に新型コロナウイルス感染症対策費として1500万円を寄付いたしました。</p> <p>https://o-ishin.jp/news/2020/09/11/10064.html</p> <p>議員削減についても参議院が定数6増していることから、前国会（第203回）11/26に定数6減を行う「公職選挙法の一部を改正する法律」を参議院に提出いたしました。</p>
	コロナ全般	22	感染力が高い人がノーマーク・わかりやすい図を、自宅療養は放置状態と同じ、次亜塩素酸ナトリウム噴霧での消毒、若い世代への投資でコロナ対策、コロナ対策への注力を、粘膜からの感染の周知を、医系技官問題、2週間ごとの緩急対策を実施、自殺対策、感染症保険法、街頭での呼びかけ、空気清浄機や紫外線機器購入の補助金政策を、飲食店にルールを&時短効果、日本医師会、	<p>ご意見として承りました。</p> <p>・コロナ感染に関するわかりやすい図のようなものを作ることはまず厚労省の「新型コロナウイルス感染症の"いま"についての10の知識」を確認なさることをお勧めします。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/000731162.pdf</p> <p>・次亜塩素酸ナトリウム水溶液の噴霧は、厚生労働省が行わないようHPに載せております。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html</p> <p>・粘膜感染については厚生労働省が広報を行っております。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/000658585.pdf</p> <p>・飲食店向けに昨年の5/14日の時点でガイドラインが出ております。</p> <p>https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_gaishoku.pdf</p>
	感染症法上の扱い	1	2類から5類に、インフルエンザ並の対応を	<p>・新型コロナの感染症法上の見直しについては、我が党がかねてより訴えております。前国会（第203回）の11/4衆議院予算委員会で浦野靖人衆議院議員が田村厚労大臣に、11/10の衆議院本会議で青山雅幸衆議院議員が菅総理に、12/2の参議院厚労委員会で梅村聡参議院議員が田村厚労大臣に対し質疑をしております。</p>

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
コロナ関連 (78)	PCR検査等・保健所	4	CT値の引き下げ、感染拡大地域でのプール方式による検査拡大を、高齢者施設職員のPCR検査を全国で拡充して	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査のCT値の引き下げに関しては、前国会（第203回）11/11衆議院厚労委員会で青山雅幸衆議院議員が、12/2参議院地方創生・消費者問題特別委員会で柳ヶ瀬裕文参議院議員が質疑を行っております。 ・検体プール検査法については1/15の厚労省の専門部会で行政検査の対象とする方針が了承され、1/22の厚労省からの事務連絡「医療機関・高齢者施設等における無症状者に対する検査方法について(要請)」で取り組み推進となっております。 <p>https://www.mhlw.go.jp/content/000725744.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査に関しては、我が党が与党の大阪でより簡便で効率的に検査を受けられる高齢者施設「スマホ検査センター」を開設し、初動対応につなげております。 <p>http://www.pref.osaka.lg.jp/chiikifukushi/coronafukushi/index.html</p> <p>また2/4付で高齢者施設の従業員等の検査の徹底をとる厚労省からの事務連絡が出ております。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/000734477.pdf</p>
	マスク	2	子どもや児童にマスクをさせないで、マスク着用強化の指導を	<p>ご意見として承りました。</p> <p>子どものマスク着用についてはマスク着用によって息苦しさを感じていないかどうかについて十分に注意をと厚労省から昨年の5/29付事務連絡で説明が為されております。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/000635228.pdf</p>
	個人への支援	12	自殺者増加と給付金の複数支給を、実質失業者支援を、コロナ解雇増加、規制強化で国民の意識を変え代わりに補償や給付金の大幅増額を	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数回の特別定額給付金に関しては2/12衆議院予算委員会で藤田文武衆議院議員が第1回目の給付の政策目的と、今後どのように支援しどのようにみなさんに支援金をお配りしたりする政策設計を為すか質疑を行っております。また2/5の衆議院予算委員会で足立康史衆議院議員が「コロナで国民のみなさまは大変困窮している、できるだけ支援措置を」と質疑を行っております。 <p>加えて国民の暮らしを公平に支える経済対策として当面2年間を目途として消費税を一律5%に引き下げ検討する選択肢はないのかと1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が質問しております。{消費税減税特例プログラム法案を前国会（第203回臨時国会）11/27付で参議院に提出。本国会でも1/29に参議院へ提出済 https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html }</p> <p>【個人への支援・再掲】</p> <p>1月前半分の政策目安箱に会社指示で休んだりシフトが入らなかったが、会社が認めなかつり、手続きをしてくれず休業手当を受け取れなかったという質問がございました。中小企業で働いていらっしゃる方向けですが「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」という休業手当を補完する制度がございました。しかし知られておりません。ご本人が対象でいらっしゃるかどうか確認をお願いいたします。問い合わせを受けるコールセンターがございました。会社経由だけでなく、ご本人からも申請することが可能です。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000646892.pdf</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/kyugyoshienkin.html#gaiyou</p>
事業者支援	10	一律支援に対する疑問、予約制導入、第2の家賃支援給付金が必要、許可事業に対する支援・猶予を、風俗業従事者、飲食店のルール、イベント業者への支援、CM作成業界支援、医療機関の清掃要員確保	<p>ご意見として承りました。引き続き党内議論を行なって参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一律給付による休業支援金の不公平感については1/22参議院本会議代表質問で片山虎之助共同代表が「迅速給付のため、当面は定額給付でやむを得ないにしても、税務情報などと連携して売上や利益の規模に応じた額を交付すべきでは」と質問しております。 ・1/26の衆議院予算委員会では、第3次補正予算案が緊急事態宣言の再発令を前提に編成されたものではないことから年度内に緊急に実施する必要のないものが多く入っていた為、持続化給付金、家賃支援給付金の申請期限延長で事業者を支援するべく編成替えを求むる動議を提出しました。 ・家賃支援給付金については2/15まで申請期限が延長となっております。 <p>https://yachin-shien.go.jp/news/20210114_02/index.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店向けに昨年の5/14日の時点でガイドラインが出ております。 <p>https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_gaishoku.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府でイベント・エンターテインメントに関わる方々への緊急支援策をまとめております。こちらの支援策の中で該当するものがないかご確認をお願いいたします。 <p>https://www.cao.go.jp/cool_japan/corona/corona.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の清掃要員確保については、厚生労働省が新型コロナウイルスの患者を受け入れている医療機関に対し、病床の清掃業務などを業者に委託する場合に国の補助金を活用できるようにしております。ただ対応できる清掃事業所は全体の1割との報道もあります。 <p>https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000655344.pdf</p>	
	Go To〇〇			

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
	治療薬ワクチン	10	自衛隊による支援、医療従事者へのワクチン接種、特性からのワクチン選択、アビガン承認について、接種会場での扇風機使用、ワクチン接種時期の明確化、国内ワクチン・予防薬の開発、ワクチン接種は危険	<p>ご意見として承りました。</p> <p>コロナワクチン接種については本国会（第204回）1/21衆議院本会議の代表質問で馬場幹事長、1/22参議院本会議の代表質問で片山虎之助共同代表、1/26衆議院予算委員会で馬場幹事長、2/5衆議院予算委員会で足立康史衆議院議員が、2/10衆議院予算委員会で申田誠一衆議院議員が質疑を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの医療従事者への接種時期は2月中旬を予定しております。 <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00218.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内でのワクチン開発、製造体制の強化について、4/27付新型コロナウイルス対策に関する提言（第4弾）で当時の安倍総理宛に申し入れを行い、また11/20参議院本会議では梅村聡参議院議員が菅総理に対し質問しております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/images/7b072aea6b6a44e369ad117d5695b135f3c9d1b4.pdf</p>
	予算・補正予算			
	入国制限緩和	2	水際対策の遅れは二階幹事長による、国際恋愛	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際恋愛をしているが彼氏に会えないとのこと。お気持ちお察しいたします。しかし配偶者ではないので相手の方に来日頂くことも、出国して相手方の国へ行くことも現状では難しいかと存じます。会えない時間が愛を育てると申します。インターネット等を活用して連絡を密に取り、お互いの気持ちをお離しになさらないよう祈念しております。 <p>http://www.moj.go.jp/isa/content/930006067.pdf http://overseas.mofa.go.kr/jp-ja/brd/m_1068/view.do?seq=760619</p>
	特措法・感染症法	14	特措法厳しく、罰則規定に対する賛否と否定意見の理由、首相官邸や衆議院のHPでの法案の開示を、法案開示と再度議論を、「正当な理由」の明確化、	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/5の政府与野党連絡協議会で「新型コロナウイルス対策に関する提言第7弾」を提出しております。この中で緊急事態宣言発令前と発令時の事業者に対する要請・命令・罰則・補償について提言し特措法改正を求めました。 <p>https://o-ishin.jp/news/2021/images/teigen7.pdf</p> <p>補償の必要性については政府与党内にある「受忍論」ではなく、十分な補償を行うことが極めて重要といたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・罰則に関しては、1/21馬場幹事長記者会見で要請命令と経済的補償、罰則はセットにしないと法律自体の実効性が高まらないと考えている旨説明いたしました。 <p>https://twitcasting.tv/osaka_ishin/movie/662839399</p> <p>2/3に特措法が改正されましたが、2/5衆議院予算委員会で足立康史衆議院議員が・（改正は）第3波を抑えるための必要最小限のことにトライした・国と自治体、都道府県知事の関係については第三波が落ち着いたところで再改正に取り組むべきとしております。</p>
緊急事態宣言	1	警察・自衛隊の出動を	ご意見として承りました。	
その他 (29)	政府与野党	28	安倍内閣の負の遺産問題、議員も痛みを、菅内閣批判、自民党批判、公明党批判、蓮舫議員のSNS施政方針演説掲載批判、地方自治体での赤旗購読問題、マツジュン議員と遠山議員のクラブ通い、特措法の週末審議、議員の歳費下げろ、上級国民批判、菅総理の生活保護発言への批判、政府不信、自民の高齢議員批判、居眠り・ヤジ批判、立憲民主応援、	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員も痛みをとのご意見を頂きました。我が党は前国会の11/27に議員期末手当削減法案を参議院に提出し、当分の間、3割削減を求めました。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/images/506160be42c4dcf192be81ffa931d072eb0c5198.pdf</p> <p>9/10には削減した議員歳費から済生会本部に新型コロナウイルス感染症対策費として1500万円を寄付いたしました。</p> <p>https://o-ishin.jp/news/2020/09/11/10064.html</p> <p>本国会では1/29に参議院へ「議員歳費・手当の返納を可能とする法案」他、身を切る改革関連法案を計19法案を提出しております。</p> <p>https://o-ishin.jp/news/2021/01/29/10357.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さる参議院マニフェストで「地方公務員の勤務時間中の政治的活動(特定政党の機関紙購入を含む)の禁止」を訴えております。 ・週末に特措法改正の審議をしないのは誰の責任かとのご質問を頂戴しました。我が党は1/6自公維国対委員長会談で遠藤国対委員長が「新型コロナウイルスの感染拡大が広がっている現状を受け、常会開催の前でも短期間で速やかに特措法改正を成立させるべき」との申し入れを行っております。 <p>https://twitter.com/osaka_ishin/status/1346703578329563137?s=20 https://twitcasting.tv/osaka_ishin/movie/660230892</p>

政策目安箱ご意見（2021年1月後半分）

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
	学術会議	1	日本学術会議は実態に合わせて日本共産党に移管し日本政府から切り離す。また学術会議は新型コロナに対してどのように考えているのか	ご意見として承りました。学術会議のあり方については、昨年いっぱいをかけて学術会議自体から改革計画案が出されると伺っております。昨年12/16付で中間報告が出ております。 http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/pdf25/siryu305-tyukanhoukoku.pdf 国民の目から「税金が使われているが日本のためになる会議体だ」と理解される改革案が出されることを期待している旨、昨年10/29付馬場幹事長記者会見で申し上げております。 https://twitcasting.tv/osaka_ishin/movie/648484918 日本学術会議の新型コロナ危機についての考えについては、会長メッセージにある「科学、技術と国、そして国民が広く協力して対応することを求めている」「課題の解決に向け、学術が果たす役割が極めて大切」をご確認ください。 http://www.scj.go.jp/ja/head/index.html
合計		262		
総計		9761		(2019.1.22～)